だれもが生きやすい・暮らしやすい社会を

　ダイバーシティ（多様性）は、だれもが安心して生きていくための大切なキーワードです。お互いの違いを「当たり前」と考えて尊重し合うことから、ダイバーシティは始まります。

　ダイバーシティが実現した社会は、お互いの良さを引き出すことができる、創造力のある社会です。いろんな人がいるからこそ、これまで気がつかなかった新しいアイデアが生まれるのです。

　たとえば、それまで男性だけで考えていた商品開発に女性スタッフが加わることで、女性目線の使いやすい商品が開発されるなどしています。外国人の方やLGBTの方たちも、企業（会社）等で多様な視点を活かすなど、優秀な人材を確保するという点から注目されています。

　ダイバーシティと合わせて、インクルージョン（社会的一体性）の「多様性を受け入れ、画一的な型にはめることを強要せず、すべての人の違いを認め合い、社会全体で支えて包み込む」ということも大切です。この２つが、各自の個性や能力が発揮できる“社会と人権”を結びつける上で重要な考えだといえます。

　尼崎市では「人権擁護都市宣言（昭和60（1985）年市議会決議）、「尼崎市国際化基本方針」（平成６（1994）年策定）、「尼崎市男女共同参画社会づくり条例」（平成17（2005）年制定）などによって、だれもが生きやすい・暮らしやすい、ダイバーシティなまちづくりを目指しています。

参考資料
・尼崎市ウェブサイト http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/index.html
・尼崎市「第３次尼崎市男女共同参画計画概要版」
・岩間暁子・大和礼子・田間泰子 2015『問いからはじめる家族社会学－多様化する家族の包摂に向けて』有斐閣
・内閣府「平成29年版男女共同参画白書」http://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/index.html
・大阪府立大学「SOGI（Sexual Orientation and Gender Identity）の多様性と学生生活に関わるガイドライン」
・総務省統計局「平成27年国勢調査」http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/
・特定非営利活動法人虹色ダイバーシティ ウェブサイト http://nijiirodiversity.jp/

発行にあたって

この冊子は、市民のみなさまに人権について正しく理解していただくために作成しました。
家庭や地域・職場などの話し合いや人権学習の資料として、ご活用願えれば幸いです。

著者紹介

巽　真理子（たつみ　まりこ）
大阪府立大学　ダイバーシティ研究環境研究所　特認准教授

相談窓口

みんなの人権１１０番（全国共通人権相談ダイヤル）	０５７０－００３－１１０
子どもの人権１１０番	０１２０－００７－１１０
女性の人権ホットライン	０５７０－０７０－８１０
外国語人権相談ダイヤル（英語・中国語・韓国語・フィリピノ語・ポルトガル語及びベトナム語）	０５７０－０９０９１１
神戸地方法務局　尼崎支局（人権相談）	０６－６４８２－７４１７
尼崎市　市民相談担当（生活法律相談や人権相談）	０６－６４８９－６４００
尼崎市　ダイバーシティ推進課（じんけん何でも相談隊）	ama-jinkensoudan@city.amagasaki.hyogo.jp（メールで受付）

発　行　尼崎市教育委員会事務局　社会教育課

社会教育課では、幼稚園、小・中学校の保護者を中心とした自主学習グループによる定期的な人権学習を広げる活動を続けています。また、市内の自主学習グループから希望があれば、社会教育課に登録している人権教育指導者の派遣も行っています。

発行日：平成29年12月　　デザイン・イラスト：北野デザイン　印刷：□□印刷株式会社

やさしい社会をめざして

ダイバーシティ

ダイバーシティ（diversity）とは、日本語でいうと「多様性」という意味です。
人間には、国籍や性別、宗教や生まれ育った環境などによって、様々な人がいます。
全く同じ人はいません。
では、そんな人たちが集まった「家族」はどうでしょう？

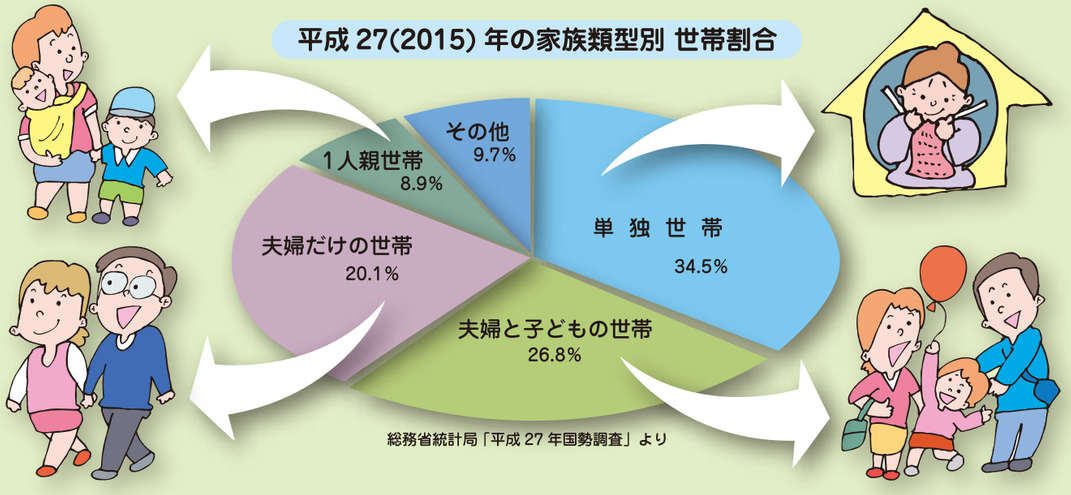
多様な家族

こんな家族がフツー？

　両親に子ども２人ぐらいの家族がフツーだと思っていませんか？
じつは……

- 1人暮らし（単独世帯）が一番多い！
- 共働き世帯が多い！
  （共働き世帯が専業主婦世帯の約２倍）

　一人ひとりが多様なように、家族も様々で、全く同じ家族はありません。平成27（2015）年の国勢調査をみても、日本にはいろんな家族がいることが分かります。今だからこそ、お互いの多様性を認め合い、家族のきずなや人とのつながりを大切にしたいですね。



回覧												